

わたしの
『感謝と友情』
ストーリー



「ありがとう」を、この街と。

リーダーの背中

兵庫県 崇心

2017年の横浜マラソンは台風の影響で中止となった。会社の上司から誘われて申し込んだ私は、どこかホッとした。

参加することにためらいがあったわけではない。「どちらが早くゴールするか」を競うことになり、結果が会社の中でも共有されるからだ。そうすると負けるわけにはいかない。その重圧から解放された安堵感だった。

”リーダーとは、率先してイベントに参加し、周りを巻き込んでいくものだ” 上司はそう言って、会社を盛り上げてきた。

これまでも同じチームで香港や安達太良山でのトレイルランニングに参加したことがある。彼は登り坂が得意で、私は下り坂が得意だった。平均して同じくらいのペースなので、お互いに気を使わない。そうして信頼関係や友情を築いてきた。

彼は2018年に、国内でも有数の大きな企業に転職するため、突然会社を去った。私はその穴を埋めるべく奔走し、一つ上のポストにも就いた。

彼は出世を重ね、今では会社の代表となったと人づてに聞いた。

6年ぶりにマラソンに参加する私には、まだまだ彼の背中も見えていない。

久しぶりに、大会の記録とともに彼に感謝を伝えたい。

KOBE MARATHON
2023